

総合的な探究の時間「探究ガイダンス」を行いました。

令和7年5月14日（水）7時間目のLHRに、1、2年生が総合的な探究の時間「探究ガイダンス」を行いました。講師は、株式会社ベネッセコーポレーション関東支社の小原宏介様が務めてくださいました。小原様は、那珂高校の担当4年目で、本校のようすをよく理解いただいています。

生徒は、探究活動の必要性と進め方について、小原様からのアドバイスをメモに取りながら、しっかりと聞いていました。生徒には、探究活動に主体的に取り組んで、成長することを期待しています。

【小原様からの主なアドバイス】

- ・探究とは、「物事の真価・価値・在り方などを深く考えて、すじ道をたどって明らかにすること」で、「世の中の出來事・問題を深く考えること」である。探究活動のキーワードは、「課題テーマ」「考えるすじ道」である。
- ・ChatGPTなどの登場で情報のアクセス方法が、ここ数年で劇的に変化している。
- ・AIの情報がすべて正しいとは限らない。間違った情報もある。根拠をもとにきちんと調べることが大切である。
- ・テーマの設定は、あなたの興味・関心のあることと、社会の必要性・課題が合致するところで考えるとよい。
- ・例えば、個人の興味では、「スマホが社会に与える影響とは？どんな活用を増やせば良い影響を与えられる？」、社会の課題では、「どうしたら、地元から人が減っていくことを防げるのか」などが考えられる。
- ・探究のサイクルは、①課題の設定、②情報の収集、③整理・分析、④まとめ・表現、⑤振り返りで、この方法を学び、社会に出た時に、疑問や課題が生じたら解決につなげてもらいたい。探究活動と調べ学習は同じではない。
- ・探究テーマの型は、日常の素朴な疑問や興味のあるナゾを明らかにする（ナゾ解決型）、誰かの困りごとを解決するアイデアを提案する（困りごと解決型）があり、2つの型はリンクしている。
- ・現在の変わりゆく世界に「正解」はなく、私たちに求められる力も進化している。高校時代に幅広く学び、世の中の見方や捉え方を更新してほしい。
- ・探究活動を進めると、うまくいかないことがある。わからないことがあることは当たり前。過去の成功と失敗を振り返ることが大切である。

